旭川市立富沢小学校 学校だより 令和4年6月30日 第3号 大野 昌広



きたえ 不れあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ 保護者・地域にもとに帰します!

◇教育目標「夢をもち 未来を拓く子ども」

◇重点目標「自分と友達と」~深く考えよりよく表現し、仲間と共に学び合う子どもの育成~

Well-being を追求し さらに 笑顔があふれる学校に! 校長 大 野 昌 広

初夏のさわやかな風が心地よい好季節となりました。子どもたちの躍動する声が校舎内外にあふれ、日々、富沢小学校は、活気に満ちています。さて、「学校行事の中で子どもが育つ」という言葉があります。昔から私たち教職員のなかで大切にしてきた言葉です。ところが、新型コロナウイルス感染症のため、学校行事は、次々と延期・中止されました。新型コロナウイルス感染症によって変わったこれからの社会を指す言葉として「withコロナ」「afterコロナ」を耳にします。これらには、「新型コロナウイルス感染症の流行は良かれ悪しかれ世の中に変革をもたらした」「流行する以前の社会に完全に戻すことはもはや不可能である」という認識が根底にあります。「withコロナ」「afterコロナ」を念頭に、あらためて「感染予防」と「学びを止めない」を両立させ教育活動を進めていきます。

□Well-being(ウェル・ビーイング)という考え方

岸田内閣が6月18日に「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太方針2022)を閣議決定しました。「骨太の方針」とは、政権の重要課題や翌年度予算編成の方向性を示す方針。正式名称は「経済財政運営と改革の基本方針」です。各省庁の利害を超えて官邸主導で改革を進めるため、首相が議長を務める経済財政諮問会議で毎年6月ごろに策定します。小泉政権時の2001年度に始まりました。かつて、宮沢喜一財務相が同会議の議論を「骨太」と表現したことから「骨太の方針」と呼ばれるようになりました。さて、標題のWell-beingですが、昨年の菅内閣時の「骨太の方針2021」からWell-beingという言葉が登場し、文部科学省から発出される文書等の中に頻繁に使われるようになりました。Well-beingとは、心身の「良好な状態」や「健やかさ」、「幸福度」という言葉で翻訳されています。実は近年、学校の使命を学力向上等に加え、子どもたちのWell-beingの実現として捉える見方が広がっています。

多様な子供たちの特性や少子化など地域の実情等を踏まえ、<u>誰一人取り残さず、可能性を最大限に引き出す</u> 学びを通じ、個人と社会全体の Well-being の向上を目指す。(下線大野、以下省略)

「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太方針2022) 34頁より

2020年9月、ユニセフが「レポートカード16-子どもたちに影響する世界:先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か(原題: Worlds of Influence: Understanding what shapes child well-being in rich countries)」というレポートを発表しました。このレポートは、先進国の子どもたちの精神的・身体的な健康と、学力・社会的スキルについてランキングしたものです。日本の順位で特徴的なのは、子どもの肥満や過体重の割合、死亡率から算出する「身体的健康」では38カ国中1位だったにも関わらず、15歳~19歳の自殺率や生活の満足度からランク付けした「精神的幸福度」は最低レベルの37位でした。「スキル」では、日本のランクは27位。読解力と数学の基礎的学力では上位に入りましたが、「新しい友達を作る」などの社会的なスキルの調査ではワースト2位でした。

□笑顔で迎え、笑顔で保護者・地域のもとへ帰す教育活動

Well-being (幸福度)を高めるには、「子どもの主体性を尊重すること」や「自己肯定感を伸ばすこと」などが大切であると言われています。主体性と自己肯定感を高め、伸ばすことは、日本のすべての学校の大きな課題のひとつです。保護者・地域の皆様と連携・協働し、Well-beingを高める教育活動を一層強化していきたいと考えています。以下の文書は、私が今年度の最初に子どもたちへの指導に際し、先生方にお願いした内容の一部です。

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ 保護者・地域に帰しましょう

子どもたちを笑顔で迎え、笑顔にさせて、保護者・地域のもとへ帰す。もちろん、授業日数約200日のなかで、毎日毎日実践せよというのは、無理なことです。しかし、笑顔にさせて保護者や地域のもとに帰すという意識を常に抱き、子どもたちの指導にあたってほしいと思います。では、笑顔にさせる具体策はなんでしょうか。笑顔にさせる声かけ、笑顔にさせる授業、笑顔にさせる児童会活動、笑顔にさせる行事……。私が常に求める子ども像は、自分自身の言動で他人を笑顔にさせ、その姿を見て幸せを感じる子ども。同時にそれは、お気づきでしょうが、自分自身の言動で子どもを笑顔にさせ、その姿を見て、教師冥利を感じる教師です。

朝会などの全校児童が一堂に会する場面では、子どもたちに対して、「今日も笑顔で過ごしていますか」「友達や仲間を笑顔にする行動や発言をしていますか」「嫌なことや不安なことはないですか」などと必ず問いかけています。 笑顔を意識する活動は、Well-beingを高める活動につながると考えます。第1学期も残り1ヶ月。子どもたちを笑顔で迎え、とびっきりの笑顔にさせて、保護者や地域へ帰す教育活動を行ってまいります。引き続き、本校教育の推進に関わり、ご理解・ご支援をお願いいたします。

田植えを行いました

6月1日(水)地域の方の水田とお力を お借りして、田植えを行いました。

「ふるさと学習『富沢の仕事』」の学習 です。

水田の土の感触に戸惑っていた子供たち ですが、「おいしいお米のためだ」と楽し みながら真剣に作業をしていました。

保護者の方も、お手伝いありがとうござ いました。



新体力テスト

1年生から6年生まで、握力、上体起こ し、長座体前屈、反復横とび、20mシャ トルラン(往復持久走) 50 m 走、立ち 幅とび、ソフトボール投げの8種目の体力 テストを行います。

2年生以上は昨年の記録も残っているの で、目標をもちながら取り組んでいました。







PTA専門部一覧

コロナ禍で活動が制限されていた PTA 活動ですが、少しづつできることが増えて きました。お世話になります。よろしくお 願いいたします。

| 事業部 | ◎棟方、田縁、井上、石持、平田、濱名、齊藤 |
|-----|---|
| 研修部 | ◎千葉、荒屋、奥山、佐々木、高山、小笠原、宮脇 |
| 広報部 | ◎野川、宮原、今野、上山、山田、二階堂、 鈴木 |

◎は部長です。敬称は略させていただきます。

ふれあい給食

6月の食育月間に合わせ、 て、6月23日(木)「ふれ あい給食」を行いました。 縦割り班で協力をしながら 配膳をした後、栄養教諭の 山口真理子先生から食事と 栄養のお話をしていただき ました。



「食」からはたくさんの学ぶことがあり ます。「栄養と健康」「感謝の気持ち」な ど「食べるが『価値』」です。食について 考える機会となりました。



縦割り班活動

1年生から5年生は旭山動 物園への遠足があります。 縦割り班で、見学コースや お互いが気持ちよく過ごす



ために気をつけたいことなどを話し合い、 計画しています。



先日の富沢タイムでは 児童会企画の全校遊び。 富沢らしさがもどってき ています。

7月の予定

~1日(金) 修学旅行

5日(火) マラソン記録会

7日(木) 水泳学習

8日 (金)

スクールカウンセラー来校

11日(月)

12目(火)

13日 (水)

14日(木)

18日(月) 海の日

19日(火)

1学期終業式・諸費納入日 22日(金) 夏季休業 (~8/21)

8月30日(火)午後から「富沢っ子まつり」を予定しています。